



千守 泰貴 さん (35)

前住地：埼玉県

職業：小学校教諭

住居：大川地区

家族：妻、子ども3人

2021年に家族で埼玉県から移住。海が好きで、マリンスポーツから海釣りまで、海のアクティビティが趣味。今一番楽しいことは海釣りで、「先生たちには内緒で仕事終わりに20分弱毎日釣りに行ってます。」とインタビューでもにこやかに語ってくれました。

東伊豆町への移住のきっかけはなんですか？

幼少期、家族旅行で毎年伊豆を訪れていたのがきっかけです。伊豆は楽しい思い出のある場所で憧れの場所でした。

埼玉県で教員になり、家庭を持ちましたが、そこはあくまで仕事の場所という感覚が強く、自分たちの本当に暮らしたい場所で子育てをしていきたいという気持ちがあって、東伊豆町にやってきました。自然との距離感が程よく、地域住民と関わりが多いことが魅力的でした。

田舎特有なのかもしれませんが、東伊豆町は地域住民とのかかわりが多いですね。

そうなんですよね。実は移住前から東伊豆町の別荘地の物件を買っていたので、埼玉県に住んでいる頃から定期的に東伊豆町に通っていました。別荘地内の住民との関わりも多く、地区のワサビ屋さんやお菓子屋さんによく声をかけてもらったりもしていました。そんな経験があったので、よその人にも親身に話をしてくれる地元の人たちを知っていて移住もしやすかったです。

移住地の候補として伊豆の中でもなぜ東伊豆町を選びましたか？

熱海や伊東のほうが東京からは近いっていうのはあったんですけど、どうせ住むなら南に近い方がいいと思いました。西伊豆も好きで旅行でよく行っていたんですけど、伊豆急が通っている交通の便の良さが今後の暮らしのために必要と考えました。

東伊豆町は、自然が豊かで、暮らしていくには十分なお店もある。要は町の規模、利便性、自然との距離のバランスが良かったです。





家を買うきっかけはなにかありましたか？

きっかけは、結婚でした。夫婦共々出身が東伊豆町ではないため、子供が生まれたとき、共働きをしていくのが非常に難しいですけど、必ずといっていいほどどちらかの実家の近くに住んでいて、子供が熱を出したらおばあちゃんが来てくれたりとか、送り迎えしてくれたりとかができるんです。それが不在状況を先に想定したときに、共働きは非現実的だと思いました。どちらかが仕事を辞めるか、どちらかの実家の近くに引っ越すかも考えたんですが、やっぱり自分たちの憧れる地で暮らしたいという気持ちが大きかったです。物価的にも地価の関係で東伊豆だと一馬力でもローンを返せるというのがありました。生活の水準を考えたときに、こちらで贅沢でなくても一馬力でやっていった方が家族としても精神的なゆとりがあるので、結婚を機に将来的な移住を決意、家を買いました。

移住後の暮らしでよかったことはありますか？

来てみてよかったと思うことは、子供が社交的になったことです。

上の子は引っ込み思案だったけど、深く関われる大人たちが増えたので心を開くようになり、下の子は元気いっぱい野生児のように、物怖じしなくなって、いろんなことに挑戦しています。

埼玉では休日にはイオンに行くしかなかった生活が、学校や家の近所の人たちとのつながりで交流を楽しむこともできるようになりました。

幼稚園のママ友の方たちやそのつながりでパパ友に釣りを教えてもらえたりできて楽しくてしょうがないですね。来てよかったなという思いがたくさんあります。

移住するうえで町の制度は使いましたか？

40歳以下の世帯向けの住宅購入に対する補助金を頂きました。基本30万円で、子供1人につき10万円という内容でした。

それは家の修繕など、生活を整えるために使い、助けていただきました。

たまたま役場の企画調整課に行って移住の相談をしたら、いろんなことを教えていただきました。お世話になった役場の方が自分の地区の方を紹介してくださり、役場との距離感もすごく近いと感じました。もともと住んでいた場所は出生届を出すのに1時間待ったりしていたので、東伊豆町の役場の親身な対応は当時の自分からするとすごくありがたかったです。

東伊豆町の役場は対応も早いですし、移住者にも親身になってくれて、来る者を受け入れてくださる雰囲気を感じました。

今移住を考えている方に伝えたいことはありますか？

住み慣れた場所から移住をするには、大きな決断力が必要だと思います。しかし、移住への一歩を踏み出すことで、素晴らしい毎日を送れるようになるかもしれません。東伊豆町のように地方は今、都会からの移住者を受け入れてくれる体制が整ってきています。子育てや趣味など、東伊豆町での暮らしに少しでも関心をお持ちであれば、迷わず移住を決断してみてください。きっと、私たち家族のように移住してよかったと日々感じながら生活することができると思います。



佐藤 太知 さん (39)

前住地：海外

職業：農家

住居：片瀬地区

家族：妻、子ども 2 人

大学進学を機に関東へ移り、卒業後そのまま関東圏で就職。機械設計の会社やイベント会社に勤めた後、ライフスタイルを見直すためにオーストラリア・ニュージーランドでワーキングホリデーをする。そこで農業に出会い、帰国後東伊豆町のキウイと柑橘農園に後継者として弟子入りし、農園を継ぐ。趣味は音楽とアウトドア。

佐藤さんは移住してどれくらいになりますか？

今年の6月で移住して5年になります。独立してから完全に住居を東伊豆町に移しました。移住するまでの研修期間2年間は、実家の西伊豆から通っていました。

キウイ農家を志したきっかけは何でしたか。もともと農業の経験等はありませんでしたか？

もともとは東京でサラリーマンをしていたので農業の経験はありませんでした。オーストラリアで野菜、オレンジの栽培をする農園で働きましたが、当時の動機はビザを延長するためでした。オーストラリアでのワーホリを終えた後は、隣のニュージーランドでワーホリをしました。ここでオーストラリア時代の友人の紹介でキウイ農園を紹介していただき、初めてキウイ農園で働くことになりました。そのキウイ農園での仕事がとても楽しかったんです。いろんな民族の人達と一緒に働く環境で、みんな歌を歌いながら働いていて、その光景がとても印象的でした。ニュージーランドでの日々がとても楽しく日本に帰国してもキウイ農園をやりたいと思うようになりました。



なぜ東伊豆町のキウイ農家を継ぐことになったのでしょうか？お師匠さんとはどういう風に出会ったんですか？

最初はネットでキウイ農家を見つけて弟子入りしようと思いました。一番上に出てきたのがキウイフルーツカンントリージャパン。たまたま静岡県内だったため、すぐに訪問し、そこで園主さんに相談をしたところ、園主さんの師匠がいる東伊豆町のキウイと柑橘の農園を紹介してくださいました。師匠は後継者を探していたため、賀茂農林事務所に連絡をし、後継者として研修を受けることになりました。キウイ農家を探していたときは日本全国どこでも良いと思っていたのですが、たまたま紹介いただいたのが東伊豆町だったんです（笑）師匠の下で2年ほど研修を受け、師匠のキウイ園を引き継いで独立するタイミングで東伊豆町に引っ越しました。

佐藤さんは地元が西伊豆で東伊豆町からそう遠くはないのですが、移住して変わったことはありませんでしたか？

東伊豆町での移住生活と、地元西伊豆での生活はそこまで変化がなかったのが正直な感想です（笑）でも、自分にとってはそれが良く、変化がないからこそ地域になじみやすかったと思います。あとは移住してから、農家仲間や地域住民との交流が増えました。特に農家仲間は意外にも同世代が多く、みんな仲が良く楽しいです。

今、移住を検討している方に一言お願いします。

東伊豆にきて色々な体験をしてみてください。農業体験をしたり、細野高原でご飯を食べたり、海で釣りをしたりなど楽しいことがたくさんあります。ひとまず遊びに来てみてはどうでしょうか？

佐藤さんの農園では、様々な方がお手伝いをしています。二拠点居住者さんも東伊豆町に来た際に手伝いに来てくれたり、大学生が手伝いをしたりと多くの方が農業体験をさせていただいています。





新井 奈那 さん (27)

前住地：東京都

職業：会社員（フルリモートワーク）

住居：片瀬地区

家族：夫

兵庫県西宮市出身。大学卒業後、フルリモートの会社に就職。東京でリモートワークを約1年した後、多拠点生活をする友人をきっかけに東伊豆町へ移住。趣味は華道と家庭菜園ということで立派なベランダ菜園も見せていただきました。

新井さんの移住のきっかけは何でしたか？

友人が多拠点生活を初めて東伊豆町稲取に拠点を持っていて、どういう暮らしをしてるんだろうと興味を持ち、遊びに来たのがきっかけです。当時は次の拠点探そう、という明確な意識はなく、どっちかっていうと、のんびりした街の雰囲気を彼のインスタで見えていたので、ワーケーションに興味があって遊びに来ました。最初のワーケーションは、休み2日と仕事3日というスケジュールでした。友人の繋がりで、他のワーケーションをしにきた子や、町を見に来た子とかが同じ宿（鯖御納戸）に泊まっていて、その人たちとも交流がありました。旅館やホテルみたいなところで、友人以外と関わらないプライベートな滞在というよりは、他の旅行者やワーケーションの方と積極的にかかわる滞在でした。その人たちと一緒に遊んだりとか、仕事場もシェアオフィスを使ったりとか、結構ワーケーションしている人とか受け入れ側の方と関われる機会があったかなと思います。

その滞在で東伊豆を気に入って移住されたということですか？

当時自分の中では、移住ってハードルが高かったんです。たとえば東京で育ったけど、沖縄に惚れこんで仕事も環境も変えて移住した、みたいな感じで、それくらい覚悟が必要だと思っていました。正直、最初稲取に来た時に絶対住みたいと思うほど惚れ込んだわけではなかったです。ワーケーションで一定期間滞在して雰囲気がわかったりとか、自然に近い場所で仕事してみても、そこで暮らす人とも関わってみて、それを通じてその時は良いなと思った程度でした。でも、東京に帰ってから、海が恋しくなりました。あの町じゃなきゃダメという理由はなかったけど、身近な人が住んでいて、感じとかもわかっていて、好きな自然がある場所だになっていうのが良いかもしれないと具体的に思えたポイントかもしれません。移住はハードルが高いイメージはありましたが、それを軽やかにしちゃう友人が先に住んでいたし、暮らしに興味があるっていう同世代がちょうど、その人起点で訪れていたタイミングだったので、こういう選択肢も自分の意思決定次第でとれる状況だなと感じました。



実際暮らしてみても楽しいことや良いことはなんですか？



人間らしさが増えたこととコストが圧倒的に下がったこと、あとは食べ物がおいしいことが良いことだと思います。人間らしさってというのは、東京で一人暮らししているよりも偶発的に人に会える機会が増え、かつ自然もあるっていう環境の中で、やれることの手段、選択肢が広がったと思います。シェアオフィスで移住仲間と何気なく世間話したりとか、お昼に海見ながらパン食べたり、前々からの約束なしで友人と夜ごはん食べたりとか、仕事終わりに星を見に行ったりとか。平日でもそういう機会が作れるようになりました。平日は自分の中では仕事の時間で、自由の制限を設けていたけど、今はその中でも自然に触れる時間があるし、ご飯を食べる以上のごことができています。それはこの環境のおかげだと思います。平日は仕事をするだけで、人と話さずに終わって、食事も誰が作ったものかわからないものを食べて、味気なくて何だったんだろうと感じていたところからだいぶ変わったなと思います。

生活にかかるコストは東京にいたころと比べるとだいぶ下がりました。今は賃貸のアパートに住んでいますが、家賃は東京の半以下です。食事面は東京にいるときよりとりうる手段が少なく（外食とかウーバーとか）自炊しなければならない環境のおかげもあって、食費もかなり下がったと思います。あと、食べ物、特に果物がおいしいです。中でも佐藤農園のキウイは本当においしかったです。とても甘くて、キウイじゃないと思ったくらい、こんなにおいしいキウイあるんだと思いました。私だけかもしれませんが、干し柿とぬき柿とかも食べたことがなくて、こんなに甘いんだと感動しました。週末には朝市があるので、新鮮な魚、野菜、お花をちゃんと地元の人の顔を見て買えるっていうのが良いです。お花については、正直、東京は売るのがに適しているから、かわいいのとか、コンセプトがちゃんとしてるやつとか、数も各地から集めているから、そこと比べると買いやすいとは思わないんですけど、逆に売り手の意図を出してない、純粋なシーズンものとか、地元の良さとか気候がそのまま反映された状態で出てくるのは良いところです。あと朝市っていつも売ってる人が一緒だから、お花屋さんのおじさんも覚えてくれていて、買うだけじゃなくて、全然関係ない相談事とかしてたりして（笑）、いろいろ教えてくれた挙句、おまけまでしてくれたりとかして楽しいです。

今一番楽しいことは？

ガーデニングとドライブです！住んでいる家が広くてベランダもあるので、最近はガーデニングを始めました！朝市で買った植物を育てるのが楽しいです。インフィニティチェアをベランダにおいて、海を見ながらお昼ご飯を食べるのがマイブームです。あとは最近、新しい車を買ったので、ドライブが楽しみです。

今、移住を検討している方に一言お願いします。

一度東伊豆町を訪れてみてください！今、実際に東伊豆町にいる人と話してみても、自分のテンポと合うかどうか試してみると良いと思います。





荒武 優希さん(32) 悠衣さん(28)

前住地：神奈川県 香川県

職業：宿経営 他

住居：稲取地区

家族：妻、子ども1人

～プロフィール～

〈夫：優希さん〉神奈川県横浜市出身。学生時代から空き家改修プロジェクトを通じて東伊豆町で活動し、大学院卒業後東伊豆町地域おこし協力隊に着任。現在は宿泊業「湊庵」を主に、空き家の利活用を通じた施設運営の仕事をしている。趣味は焚火。

〈妻：悠衣さん〉香川県高松市出身。結婚を機に伊豆半島へ移住し、現在は東伊豆町で子育てをしながらカフェ「すみんこカフェ」を営んでいる。お隣伊東市で地域おこし協力隊を務めた後に東伊豆町へ移住した。趣味はオーディション番組を見ること。

東伊豆町稲取に移住したきっかけは何ですか？

（優希さん）学生時代に、東伊豆町で空き家改修プロジェクトをしていました。大学院を卒業後も、プロジェクトにかかわり続けたいという思いが強かったため、当時改修した建物を運営するために、東伊豆町の地域おこし協力隊になり、移住しました。学生時代から東伊豆町に生きていくうえでの食い扶持は十分にあると感じており、この町で暮らしながらプロジェクトに関わっていくイメージがありました。あとは学生時代から役場の人を中心に町の人たちとつながりを作ることができたので、こういう人達がいる地域だったら、自分も自分らしく暮らせるかなと思いました。移住へのハードルは低かったかもしれません。

（悠衣さん）私の移住のきっかけは結婚です。

優希さんの場合移住のハードルは低かったようですが、悠衣さんはいかがでしたか？何かハードルになったことはありますか？

（悠衣さん）全部がハードルでした。移住する前は、伊豆には何回か遊びに来たことがある程度で将来住む感覚は私にはなかったです。私自身、出身が香川でパティシエの専門学校卒業後は大阪に住んでいたのも、大阪が好きでしたし、今後も大阪かその周辺で暮らすんだろと思っていました。なので最初は東日本の文化がわからず、雰囲気もつかめなかったですし、家族も友達も遠くなるのが不安でした。



優希さんが運営する宿の一つ「錆御納戸」
空き家を改修した一棟貸しの宿です

実際に東伊豆町に移住してみようですか？

(悠衣さん) 最終的に移住を決意できたときに出会った移住者さんが数名いらっしゃいました。こんな素敵な移住者さんがいるんだ、この人達がいるなら大丈夫だと感じられました。あと、私の場合は東伊豆町に来る前に伊東市に住んで仕事をしていたので、それがすごくよかったと思います。東伊豆に初めて来たときは、夫(優希さん)の嫁というのをプレッシャーに感じ、少し怖かったです。なのでちょっと離れた伊東で、自分らしく生活を整えられたのは良かったです。当時は伊東に住みながら、週末に東伊豆町稲取のダイロクキッチンでチャレンジショップをしました。いずれ東伊豆町に住むというのはなんとなく決めていたので、自分の居場所を作るのは自分しかいないと思いカフェをしました。稲取の住人の方とも少しずつ仲良くなれたので良かったです。

移住生活の中で楽しいことは何ですか？お二人は特に外食がお好きなイメージがあるので、東伊豆町のおすすめグルメがあれば教えてください！

(優希さん) 宿のお客さんに自分の好きな街を紹介できるのは楽しいです。家族を紹介するのもそうだし、自分の住んでいる好きな街を案内できるのは楽しいです。初めてくる人達に楽しんでもらえるよう、場を作って提供するのが楽しいです。

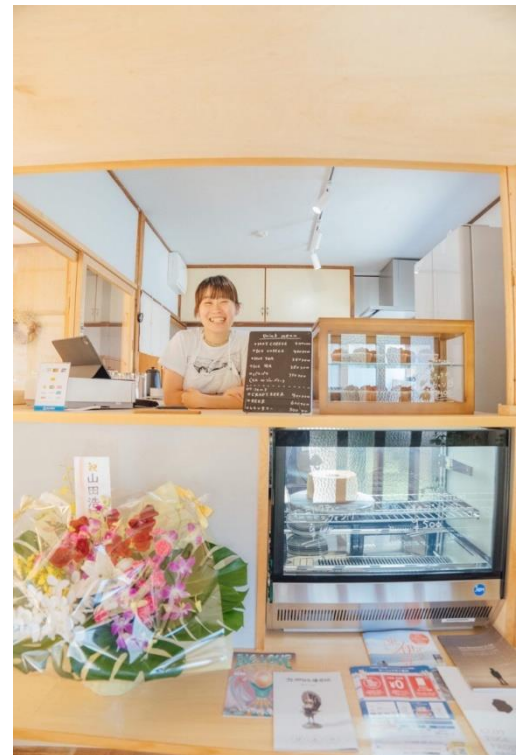
(悠衣さん) 食べ物だと全部好きです(笑) 魚がこんなにおいしいと思っていなかったから、家でもよく食べますし、食はおいしすぎる！外食もよく行きます！私が一番好きなのは、「燦」のサンマの海苔巻きです！(燦＝片瀬地区にある飲食店)

(優希さん) 最近も「燦」ばかり行ってます(笑) メニューも豊富だし、子供を連れて行ってもお店の方がすごいかわいがってくださいから、そんなお店の寛容さも東伊豆町ならではのかなと思います。そういう点ではこの町は子育てしやすいんじゃないかと思います。

今後やってみたいことはありますか？

(優希さん) いずれ水産加工業をやりたいと思っています。今うちの町は魅力的な食材はたくさんあるけどそれを加工する力がないように感じるので、そこはやりどころかなと思います。主産業の方々の邪魔にはならないようにやっていきたいです。

(悠衣さん) 親子で参加できるケーキ作り、教室みたいなイベントをやりたいです。あとはマッサージ等他業種の方とコラボをしてみたいです。



優希さんが運営する宿「赤橙」内でカフェ「すみんこcafe」を運営する悠衣さん。娘、心珀ちゃんにとっても癒される居心地のいいカフェです。



森下 佳世子 さん (54)

前住地：東京都

職業：飲食店経営

住居：稲取地区

家族：1人暮らし

東京で会社員として働き、育児に奮闘しながら約20年間伊豆への移住を夢見ていたそう。子育てがひと段落したタイミングで、伊豆への移住を決意。東伊豆町内のホテルに勤めた後、お食事処「おばあちゃんち」を開業。まるでおばあちゃんちに帰ってきたような温かみのある食堂を経営しています。趣味は、温泉、家庭料理。

森下さんは長い間伊豆に移住を夢んでいたようですが、そのきっかけは何だったんでしょうか？

20年位前に北川へ旅行に来たのがきっかけです。今はなき光景のようですが、朝港で地元のおばちゃんたちが漁師さんからお魚をもらってバケツに入れて帰っていく様子がとても印象的でした。その光景に憧れて、移住を夢見ましたが、当時は東京に家があり、子供も学校に通っていたため、すぐに移住はできず、子育てが終わってからにしようと計画しました。

子育てが終わって移住計画を進めていくうえでまず初めに何から始めましたか？

子育て中もずっと移住へのアンテナは張っていたので、都内の移住支援センターの存在、移住のイベントがあるのは知っていました。そこへたまに顔を出していたので、移住を決意してから実際に移住をするまでは早かったです。移住支援センターの静岡県の担当の方とお話しし、移住者の体験談を聞いたり、職業マッチングを通して就職先を見つけることができました。

森下さんは移住先としては伊豆の中でも東伊豆町に絞ってお考えだったんですか？

伊豆には絞っていたのですが、東伊豆町で探してはなかったです。まずは寮があるところに就職して、働きながら他の地域も訪問して探そうと思っていました。いざ働いてみたら、就職先の女将さんを始め、皆さんすごくよくしてくださってやめられなくなってしまいました。でも自分の中では移住して1年以内には家を決めたかったので、それならホテルの近くの稲取でと思い、稲取に家を持つことにしました。



実際に移住、開業を経て、お忙しい日々を送られていると思いますが、今の暮らしはどうですか？

もともと会社員時代は、旅行大好きだったんです。しょっちゅう子供を連れていろんなところ行ってたんですけど、全然行かなくなりました。何がそんなに良くて旅行してたんだろうって思い返してみたら、やっぱり景色とか、温泉、海…そういうのが全部、今日常の中で満たされています。日々のお仕事は忙しいですが、生活の中に癒しの瞬間があるから頑張れます。朝起きて入る温泉、ベランダで朝日を見ながら飲む珈琲、海と太陽と、そこから始まる朝で。仕事から帰れば、また温泉とサウナで疲れをとって、ベランダで星を眺めながらワインを飲んで、頑張ってます。

理想的な移住生活ですね～^^

では逆に、移住生活において困ったこと等はありましたか？

ひとつ、すごく困ったことがありました！稲取から稲取への引っ越しができないことです！当時はまだ知り合いがそんなに多くなかったので、引っ越し業者に問い合わせるしかなく、問い合わせたところ軒並み断られました。稲取に営業所がある引っ越し屋さんがないから引っ越し先が2, 3キロだと請け負ってくれなかったんです。何とか知り合いに手伝ってもらい引っ越しはできましたが大変でした（笑）移住したては何もわからないし、田舎はネットに出ていない情報が多いから大変かもしれません。新生活準備は田舎のネットワークがないとちょっと大変ですね。

地元の人とのネットワークをつくるコツはあったりしますか？

やっぱり年月かと思います。私の場合は、お店を始めるにあたって無数のネットワークが出来上がりました。旅館に勤めるだけでは関わることのできなかった方とも繋がりができました。何かをゼロから作り上げることでできる繋がりは確実にあると思います。

これから移住を検討されている方に一言お願いします。

とりあえず来てみよう！！
ダメなら戻ればいい！！

ぜひ一度「おばあちゃんち」に足を運んでみてくださいね^^

